

花川病院 地域連携相談センター

営業連携事務 佐野 真紀子

功 績 スモールミーティングから上がってきた内容を幹部職員で共有し、競合病院がしていないイベントを実施。年末祭とクリスマスイベントで患者さんご家族、そして職員と楽しいひとときを過ごし、みんなの幸せホルモンUPを企画。患者さんの笑顔、面会に来られたご家族との抽選会等でワクワク感を総合司会として演じドーパミンをたくさん分泌し営業最終日180床満床を達成した功績。

推 薦 者 地域連携室センター長 金子 宏美

推 薦 理 由 コロナウィルスの影響で面会制限から面会禁止の中では、スカイプ利用の開始やSNS、メールをご家族にタイムリーにお届けし、患者さんご様子や笑顔の写真をご家族に送信でき、遠方のお孫さん・曾孫さんも含め広くご家族にご利用、満足評価をいただいていた。今回、総合司会の使命も快く引き受け、患者さん・ご家族からの笑顔溢れる幸せホルモンをいただき、職員も楽しそうに仕事ができる雰囲気にした。総合司会として今後年末の定例イベントとなる成果となりましたので理事長賞に値すると思ひ推薦します。

内 容

スモールミーティングにて競合病院・急性期病院での患者さんの市場の変化があり患者紹介件数苦戦。今年の年末年始の大型連休とベッド稼働予算達成の苦戦状況の話題があがった。今までは差別化としてフリー面会で当院を選択されていた。しかし、殆どの病院で予約ながら面会開始、テレビCM、上肢下肢ロボット、屋外庭園リハなど当院の強みを真似され差別化戦略も効果が薄れた。

そんな情報を幹部職員と共有し、療養型病院で伝統とレバンガ北海道スポンサーを活かし、院内でできる最大員イベント企画案を練り、リハ単位への影響も最低限とし、年末祭として、年末ジャンボ宝くじ風の抽選会、神輿・よさこいソーランを各階で総合司会のマイクパフォーマンスで実施。また、別の日には、レバンガ北海道折茂代表にサンタさんとしてご来院いただき、患者さんと面会のご家族と一緒にプレゼントを渡していただき記念写真・握手をしていただいた。今回、職員へのスマホ導入も発揮でき、ご家族のスマホでも撮影でき親近感が湧くシーンとなった。通常業務も進行しながらは、総合司会として各階の入浴・リハのスケジュール把握し、各担当者との連携の和を気付いた成果がと思います。